

科目名 (科目番号)	医療と倫理 (時間割参照)	教員名	馬場 智理	学科等	理学療法	必修	履修年次	1
				曜日・時限等	時間割表参照	単位数	1	
				授業形態	講義	オフィスアワー	非常勤	
授業概要	現代の医療現場で生じている問題を取り上げ、そこに含まれる倫理的課題について検討する。授業の中で、実際に自分の意見を明確化する作業を通して、医療従事者としての倫理的態度を養うことを目的とする。							
目的・目標	目的:医療現場における倫理的問題の理解、および問題に対する態度決定ができるようになることを目的とする。 目標:医療人として求められる倫理観を身につけることを目標とする。							
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。							
授業計画	回	授業項目		到達目標・学習内容				
	1	医療における倫理の基本		到達目標:医療における倫理的問題とその解決の全体像について理解する。 学習内容:医療における倫理的問題に対する基本的考え方について学ぶ。				
	2	出生をめぐる生命倫理(1)		到達目標:出生前診断の倫理的問題について自ら考える。 学習内容:出生前診断の現状と問題について学ぶ。				
	3	出生をめぐる生命倫理(2)		到達目標:生殖補助医療の倫理的問題について自ら考える。 学習内容:生殖補助医療の現状と問題について学ぶ。				
	4	出生をめぐる生命倫理(3)		到達目標:生命操作の倫理的問題について自ら考える。 学習内容:現代医学における発展的生殖技術について学ぶ。				
	5	死をめぐる生命倫理(1)		到達目標:脳死の倫理的問題について自ら考える。 学習内容:臓器移植と脳死の歴史について学ぶ。				
	6	死をめぐる生命倫理(2)		到達目標:尊厳死の倫理的問題について自ら考える。 学習内容:終末期医療の問題について学ぶ。				
	7	生命倫理の展望		到達目標:困難な倫理的問題に対して答えを出す方法について自ら考える。 学習内容:現代の医療現場における倫理的問題への対応について学ぶ。				
	8	医療人の未来		到達目標:自らの目ざす医療人のあり方をイメージする 学習内容:現代～未来の医療現場の展開について学ぶ。				
成績評価の方法・基準	授業時のリアクションペーパー(50%)、およびレポート提出(50%)によって評価する。なお、三分の二の出席数、及びレポート提出の両方を充足していないと、成績評価を行わないので注意のこと。							
教科書	使用しない。							
参考図書	授業中に適宜指示する。							
教員からのメッセージ	医療現場の問題は、すぐには答えが出ない難しい問題が少なくないので、まずは自分の頭で考えてみるのが大切です。毎回、質問やリアクションペーパーの作成がありますので、皆さんの積極的な参加を期待します。							